

平成28年度2回歯学教育認証評価検討WG幹事会議事要旨

会議名：平成28年度第2回歯学教育認証評価検討WG幹事会

日時：平成28年 7月 8日（金）15：00- 16：30

場所：東京医科歯科大学歯科棟南3階 小会議室

出席者：荒木、前田、北村、一戸、中嶋

（オブザーバー）江藤、西原、島居、赤石、犬飼

配付資料

1. 平成28年度第2回歯学教育認証評価検討WG幹事会出席者一覧
2. 座席表
3. 平成28年度第1回歯学教育認証評価検討WG幹事会議事要旨(案)
4. 平成28年度年間スケジュール（修正案）
5. 幹事大学以外への認証評価トライアル実施（最終案）

議題

1. WG座長の荒木より挨拶があった。
2. オブザーバーの江藤先生、島居文部科学省医学教育課課長補佐より挨拶があった。
今後の認証評価正式実施に向けて、本事業で実施してきたトライアルを基に、実施マニュアルの作成をし、作成したマニュアルで実際の認証評価トライアル実施をすることが望ましいのではとの要望が出された。
3. 平成28年度第1回歯学教育認証評価検討WG幹事会議事要旨(案)について内容確認が行われ、承認された。
4. 平成28年度年間スケジュール（修正案）について
座長の荒木より平成28年度年間スケジュール（修正案）が出された。いくつかの項目につき以下のように承認、修正が協議された。
 - 1) ADEE への派遣
8/23-26 にスペインバルセロナで開催される ADEE へは、5月の英国の EU 離脱決定後の EU における歯学教育への影響の確認と、ADEE-ADEA の密接なコラボレーションが図られている現実の中で、今後の動向を直接確認する必要があるため、座長の荒木の派遣が認められた。
 - 2) 認証評価基準に関する全国説明会・ヒアリングの開催日程
当初は東京医科歯科大学のトライアル終了後に最終の認証評価基準案を作成し、全国説明会を開催後にパブコメ・ヒアリングを実施、その結果を踏まえて最終認証評価基

準を確立し、12月の成果公表シンポジウムを行う予定としていた。しかしこのスケジュールは非常にタイトであるので、まず10月中を目処に最終の認証評価基準案を作成開示し、パブコメ・ヒアリングを実施する。その結果を踏まえて、12月の成果公表シンポジウム時に最終認証評価基準を確立して報告することとした。その後も意見調整を行う必要があると思われるので、最終の歯学教育認証評価基準を決定して、平成29年2月に最終全国報告会(仮称)を開催することとした。

3) 歯学教育認証評価基準完成の手順(各大学からの合意確認)

12月の成果公表シンポジウム終了後に29歯科大学・歯学部の長に、本WGで完成した歯学教育認証評価基準を連絡し、合意の確認をすることとした。

4) 平成28年度成果公表のためのシンポジウム(12月10日)での招聘外国人

現在UCSFのマーク・ライダー教授とメルボルン大学のマイク・モーガン教授を招聘することで調整しているとの報告がなされた。

5) 事業まとめシンポジウム開催日程

平成29年2月に最終全国報告会(仮称)として開始することとし、平成29年2月18日(土)を候補日とした。

5. 幹事大学以外への認証評価トライアル実施(最終案)について

予定より準備が若干遅くなったが幹事会終了後に24歯科大学・歯学部の長に幹事大学以外への認証評価トライアル実施案内文を送付することとなった。

1) 実施大学の決定方法

2大学を予定しているが、もし3大学以上になったときは座長が、私立・国立、地域などを勘案して実施大学を決定することが承認された。

2) 認証評価委員

実施大学が決定したら早急に現地調査日程を決定してもらい、現地調査に参加出来ることを条件に認証評価委員を募っていくこととした。今回は識者以外の4名×2=8名は幹事委員、認証評価WG委員、及び過去の外部認証評価経験者で構成することとした。

6. 日本歯学教育評価機構設立に向けて

オブザーバーの日本歯学教育評価機構設立準備委員会西原座長より、現在までの当委員会の活動状況についての説明が行われた。

併せて下記のマニュアルの作成の希望が出された。

1) 認証評価実施マニュアルの作成(評価マニュアル)

2) 認証評価受審大学用マニュアルの作成

以上